

福野地域 会議録

件名	福野地域提言実現検討組織 拠点づくりグループ 第9回会議		
日時	令和2年1月15日(水) 19時～21時	場所	福野庁舎1階 102会議室
出席者	拠点づくりグループ参加メンバー：5名、 地方創生推進課：2名		
内容	・12月2日合同会議での質問事項についての確認、 ・2月29日住民との意見交換会の発表資料の確認		
概要	<p>→前回は12月2日に3グループ合同会議を開催して、それぞれのグループのこれまでの協議内容について、福野地域提言実現検討組織としてお互いに情報共有が図られた。また、その折に、2月29日に住民との意見交換会を開催することが決定された。今回は、住民との意見交換会も想定して、合同会議で出された質問に対する返答内容の確認、それから、メンバーの古瀬氏から提出されている住民との意見交換会での発表資料(案)の内容確認から行うこととしたい。</p> <p>◆配布資料の説明</p> <p>◆12月2日開催3グループ合同会議での質問に対する返答内容の確認 (◇…合同会議でのグループの返答、●…メンバー発言、→…事務局発言)</p> <p>【質問1】ファブリカ跡地での住宅開発は、何戸程を想定しているのか？</p> <p>◇市営住宅もみじ野団地の建て替え案の1つとして想定していると聞いている。現在の2棟を1棟にする計画案もあるように聞いている。</p> <p>●市営住宅の移転、それと民間の住宅開発も視野に入れた、2本立てで考えていけばいいと思っている。</p> <p>●市営住宅については、現在、市の再生団地計画の会議において、福野のもみじ野団地、城端の荒田町団地の老朽化に伴う建替えが議題に挙がっており、この2つの団地を1箇所にして建替えてはどうかというもの。合わせて32戸を、1期で24戸、2期で12戸に分けて整備し、それぞれ募集するようなことが検討されているとのこと。その候補地としてファブリカ跡地も考えて欲しいということを会議で伝えてある。</p> <p>●福野の一等地に、低所得者向けの公営住宅を置くことは適当なのか？民間による住宅開発を考えるべきでは。</p> <p>→どちらも併せた使い方も考えられるのでは？</p> <p>●仮に宅地分譲するならば、分譲以降30年後もその地域が元気でいられるように考慮した分譲を検討すべき。</p> <p>【質問2】試算時点での維持管理費の不足分をどのように対応するのか？</p> <p>◇この複合交流施設は、地域の課題解決のための施設でもある。地域の課題解決は、そもそも行政でやるべきことなのに、小規模多機能自治で行うのだから、市からの若干の支援があるべきと考える。たまたま、福野中部まちづくり協議会が福野地域全体を網羅して取り組もうとしている。1個人の趣味でやっていることではない。</p> <p>●福野地域全体を網羅して、福野中部まちづくり協議会で取組んでもらうことを想定している。行政で行うべき地域の課題解決を小規模多機能自治により地域で行うというのだから、行政からそれに見合う金銭的支援はあるべきと考える。地域の課題解決の取組なのに、金儲けをせよ、という考えが基だおかしい。本件については、福野地域の拠点づくり協議会長の集まりである福野地域づくり連絡協議会からも、市に対して要望しているもの。</p> <p>→例えば、子育て支援の部分で、放課後児童クラブの飽和部分をこの施設で取組むということで、放課後児童クラブの業務委託を受けるなど、あんな事にも、こんな事にも取組むから、その分の委託料を上乗せして欲しい、というような視点があると良いのでは。また、合同会議では「地主は市なのだから、市自身が地主の立場で考えていく必要もあるのでは」という意見があったが、市としても、これまでに庁内プロジェクトチームや若手職員の研修などで、この跡地の活用について検討されてきた。アイデアの例としては、サービス付き高齢者住宅に診療所やデイサービス、ヘルパーステーション、配食サービスなどを加えたような、高齢者福祉に特化した取組、あるいは、エコビレッジの一環で、まちの真ん中にゴミ処理施設を設置するという取組、など、いずれも、この場所で採算が取れるようにして、持続性を持たせた活用を中心に考えていくべきとの議論がなされた。提言にもあるように、既にいろいろな機能がコンパクトに配置されている地域であり、「新しい何かを」という方向で検討されてきたが、財政事情を考えると難しいところではある。</p>		

【質問3】用途地域内への住宅開発に係る助成制度によって、逆に、福野の魅力を感じてもらえず、住み続けたい場所にはならないのではないかと？

●合同会議では「助成制度があるとその制度を理由に住むことになる。まちそのものの魅力を感じた人に住んでもらいたいから、助成制度は不要」との意見であったが、助成制度はあくまでも定住促進の呼び水を想定している。福野のまちはドーナツ化現象となっているのだから、行政の手による定住促進の助成制度により、まち中へ誘引するようにしていくべきであろう。

●定住促進に資する目的である。市として、もっと積極的に取組む姿勢が大事である。

●提言にある「まちの優位性」というのは、「住んでください」というより、「住んでもらえる」というもの。

●住宅購入は一生に一度あるかないかの大きな買い物。建ててしまえば、そこに住み続けなければならないのは当然のこと。住めば都である。

●このグループで検討するのは、複合交流施設の整備のことではないのか。空き地全体の活用も併せた2本立てで検討しなければならないのか？話が大きくなりすぎていて、分かりにくい。

確認だが、現在議論している複合交流施設は、①福野中部交流センターの機能、②福野地域全体を網羅した事業に取り組む、という2つの位置付けで良いのか？

●中部交流センター機能を、複合交流施設の中に入れて、施設の管理も担うという観点で説明しないと、中部以外の方の理解は得られないだろう。

【質問4】旅川福祉交流館の廃止を面積の説明に盛り込むなら、その施設に入居されている団体等の移転先として考えるべきではないかと？

◇旅川福祉交流館に入居されているメイプル福野などの福祉的機能については、行政から必要だと言われれば盛り込むこともやぶさかではない。盛り込むかどうかは、行政の判断に因るところだと思っている。このグループでは盛り込む理由が見当たらないので、現段階では説明出来ない。メイプル福野の関係者もこのグループに参加していただいているが、この点の検討は現在保留となっている。

●以前から議論に挙がっているメイプル福野の福祉作業所については、地域共生社会の観点から福野地域全体を対象としているが、その機能についての議論はもっと後になるだろうか。

→ご意見の内容は、「旅川福祉交流館の調理室については、複合交流施設に盛り込まれているようだが、入居しているメイプル福野の福祉作業所などについては、その機能が施設には盛り込まれていない。この点についてどのように考えているのか？」というもの。指摘のとおり、検討していかないと話のつじつまが合わないのではないだろうか。

【質問5】元々、複合化の可能性が打診されているヘリオスとは用途が違う、とのことであるが、検討している施設とヘリオスとの違いが不明瞭では。

●ヘリオスは芸術文化の発信地であり、利用料金が高い、使い勝手が悪い、等、地域の課題解決の場には相応しくないと考える。

→それだけでは、説明する際の説得力に欠けるのでは。

●元々は生涯学習施設としての位置付けであったから、各種サークル活動に利用されていたが、利用料金が高いことを理由に、それらのサークルが福野産業文化会館へ離れてしまったように思う。

●新たに整備する施設のサークル活動に対する利用料金については、福野産業文化会館と同額にすべきかと。

●試算では、福野産業文化会館の現在の利用料金と同額で計上している。

→この施設だけ特別扱いして、利用料金を安価に出来るとは考えにくい。

●交流センターの場合は、地域住民の利用であれば無料である。

→地域住民からは別途集められる負担金での対応とするならば、その都度の利用料金を無料にすることは理解出来る。しかし、交流センター以外の部分についてはどうか？新しい施設を整備した時に、従来の福野産業文化会館と同額程度の利用料金で利用いただけるという説明で、採算性の面で果たして問題のない説明と言えるのだろうか？

●今の段階では、福野産業文化会館と同額程度の利用料金で収入額を試算してみた、ということに過ぎない。利用料金を我々がどうこう言える立場ではないが、高ければ誰も利用しないだろう。

【質問6】テナントとして4区画を検討されているようだが、複合交流施設のテナントには、行ってみたくなるような仕掛けを盛り込むべきではないかと？

◇物販テナントについては、コンビニエンスストアのようなものが入ってもらえたら、と

- 話していた程度。あてがないので、詳細な検討は出来ていない状況。
- ◇この施設の機能で利益をあげられるのは、テナント部分になるだろう。
 - その意見を受けて、今回、テナントの区画を増やした内容に資料を修正してみた。
 - 福野町土地改良区や南砺市体育協会も、いずれは移転が必要になると思われ、この施設に入って欲しいと思っているが、意向などを全く伺っていない状況なので、勝手に資料に盛り込むことは避けたい。「入居テナントが増えることもあるかもしれない」程度の説明にしておきたい。
 - ヘリオスとのすみ分けはするべきだろうか。
 - ヘリオスとのすみ分けについては、「この施設では、地域に密接な団体が入居したり、地域の人による小規模な催し物を開催したりすることを想定している」という説明でどうだろう。
 - 地域の高齢者や子どもたちなどがこの施設などに集うことが賑わいなのである。行ってみたくなるような仕掛けを盛り込めと言われても、一過性のもものでは持続性に欠ける。
 - 地域の皆さんが気軽に集まって、手軽に小さなイベント等が開催出来るような設えだけでなく、仕掛けがあると良い。

◆古瀬氏から資料2・資料3の説明、2月29日開催予定の住民との意見交換会での発表内容の検討 (●…メンバー発言、→…事務局発言)

- 福野中部の拠点施設として、地域活動を今まで以上に強化していく、という点を訴えかけると分かりやすいような気はするが、「福野地域全体のまちづくりと謳っているが、中身は中部のことだけではないか」と言われかねない気がする。
- 確認だが、提言実現のための予算は市ではきちんと確保されているのか？
- 統合・複合化による施設整備に必要な費用について、基金で対応出来るということは、これまで説明してきておけるとおり。真に必要な具体策はこれである、という地域の総意として確認していただくことが必要。
- 市として、今後廃止となる施設の跡地の用途の見通しを持っておくべきではないか。
- 民間事業者の団体であるふくひろ会でもファブリカ跡地の活用について検討されているとのことだが、ふくひろ会とこのグループとの兼ね合いはどうなるのか？
- 市として、この複合交流施設を含めたファブリカ跡地の活用について、公民連携で進めていく可能性を調査していく中でふくひろ会さんが出てこられるのかなと思っている。まだ詳しい情報は届いていない。
- 2月29日の住民との意見交換会の前に、このグループの検討内容を、福野中部地区の皆さんに一度説明する機会を設けるべきではないか？
- 福野中部地区の各区長さん方には、折に触れて、福野中部まちづくり協議会長より説明しているので、取り急いで説明する機会を設ける必要はないと思っている。
- このグループとしての最終の取りまとめはどんな方法になるのか？市長に直接報告すべきかと思うがどうか。このグループの意見を、今後事業主体となる市、あるいは民間事業者を引き継ぐためにも、何らかの形で残すべきと考える。
- 2月29日の住民との意見交換会を踏まえた上で、報告書として取りまとめて、年度内には報告出来るような方法を考えていきたい。
- 2月29日には、各地区からの動員が必要ではないか？2月7日に地域づくり協議会長の会議があるので、声掛けしたいと思う。
- (全員) よろしくお願ひしたい。

◆次回 福野地域提言実現検討組織と住民との意見交換会

日時…令和2年2月29日(土)午後7時から ※早めのお越しをお願いします。
場所…福野体育館 会議室

**福野地域 拠点づくりグループ
提言実現検討組織 会議**
R2. 1. 15 (水)

- ① 3グループ合同会議での質問内容の確認
- ② 2/29 住民との意見交換会での説明内容の確認

◆ 3グループ合同会議での質問内容の確認

Q. ファブリカ跡地での住宅開発は何戸か?

A. 市営住宅のこと。
 ・もみじ野団地
 ・荒田町団地
 > 民間の住宅開発も視野に入れたい。
 1棟で建替え計画か?

▶ 福野の一等地に、低所得者向けの公営住宅が良いのか?
 宅地分譲を考えていたが。

▶ 分譲以後30年後の地域の姿も考えるべき。

Q. 試算時点の不足分をどうするの?

A. 福野地域の地域づくり協議会でも要望している。

行政で行うべき地域の課題解決を、地域(小規模多機能自治)で行うのだから、行政からの若干の支援はあるべき。

福野全体と網羅して、
 福野中部まちづくり協議会で取り組んでもらうことを考えている

→ 例えば、放課後児童クラブの飽和部分を補う、というような視点があると良いのでは。

Q. 住宅開発に係る助成制度があると、福野の魅力を感じてもらえず、住み続けたい場所にはならないのでは?

A. 定住促進に資する目的も、**もっと積極的に取り組む姿勢大事**

▶ 同時に別々のことと議論して
分かりにくい。

▶ 議論には複合交流施設は、
(1. 福野中部交流センター
(2. 福野地域全体を網羅したもの
の位置づけで良いのか？

▶ 以前からのマイプル福野は、地域共生
社会の観点から福野地域全体を指す。
ただし、議論は、もっと後になるか。

Q. 旅川福祉交流館を廃止にするなら、
入居団体等の移転先を考えるべきか。

Q. ヘリオスとの用途が違うのは、どうい
うことか？ 違いが不明察

▶ 地域の課題解決の場にはふさわし
くない。料金高い、使い勝手悪い etc...

▶ サークル活動に対しては、産業文化会 → 試算の中には含めている
館と同額にすべきかと。

Q. 行ってみたくなるような仕掛けを
テナントに盛り込むべきでは？

▶ ヘリオスとのすみ分けはすべきか。

▶ 地域の高齢者や子どもたちなどが
この施設に集うことが賑わいなのである。

▶ 地域の皆さんが気軽に集まって、手軽に
イベント等が開催できるような設えや仕掛け
があると良い。

◆ 次回会議 ◆

住民との意見交換会

2/29 (土) 19時～ 福野体育館
会議室

18:30には集まってください。

説明は15分～20分

◆ 2/29 住民との意見交換会の説明 ◆

・資料の説明

▶ 提言実現のための予算はきちんと確保されているのか？

⇒ 確保している！

但し、1地域ら億がベースではない。

▶ 今後廃止となる施設の跡地の用途の見通しを持っておくべきかと。

▶ ふくひろ会との兼ね合いは？

⇒ 市として、複合交流施設を含めたフアブリカ跡地の活用について、公民連携を進めていく可能性を調査していく中で、ふくひろ会が出てこられるのかな、と思っている。

▶ このグループでの意見のまとめ方は？
市長に直に説明すべきかと。
何らかの形で残すべき。

⇒ 2/29の住民との意見交換会を踏まえて、報告書として取りまとめて、年度内には報告できるようにしたい。

▶ 福野中部の皆さんに、一度説明する機会を設けるべきかと。2/29前に。

▶ 折に触れて、中部の各区長さんには、まろぐり協議会長から説明している。今後も、引き続き説明していきたいとのこと。

1月15日開催【拠点づくりグループ】会議の当日配布の資料について

【1】配布資料一覧

- 資料1 令和元年11月12日開催会議の会議録
- 資料1-② 令和元年12月2日開催3グループ合同会議の会議録
- 資料2 古瀬正嗣さん提供資料（【新しい核となる拠点づくり】検討資料）
- 資料3 古瀬正嗣さん提供資料（福野地域の新しい核となる「拠点づくり」の提言）

【2】配布資料の見方

- 資料1 令和元年11月12日開催会議の会議録
- 資料1-② 令和元年12月2日開催3グループ合同会議の会議録

前回の議論の内容を確認いただけます。

- 資料2 古瀬正嗣さん提供資料（【新しい核となる拠点づくり】検討資料）

次の点について示されています。

I 複合交流施設

- 1 公共施設再編計画の視点からの試算（案）
- 2 場所
- 3 維持管理費等の概算試算(案)
- 4 整備手法及び維持管理運営の検討（案）
- 5 複合交流施設で取り組む内容（案）
- 6 持続可能な運営方法の検討（案）
- 7 解決できる課題

II 住宅開発

- 1 現状と目標
- 2 場所等
- 3 産官民による整備の支援体制

- 資料3 古瀬正嗣さん提供資料（福野地域の新しい核となる「拠点づくり」の提言）

2月29日開催予定の住民との意見交換会での発表資料（案）です。

※2月29日開催予定の住民との意見交換会について

提言実現に向けた検討結果を地域の皆さんに広く知っていただくために開催します。

詳細については、1月15日開催会議の会議録をご確認ください。

福野地域 会議録

件名	福野地域提言実現検討組織 拠点づくりグループ 第8回会議		
日時	令和元年11月12日(火) 19時~21時	場所	福野庁舎2階 201会議室
出席者	拠点づくりグループ参加メンバー：4名、 地方創生推進課：1名		
内容	・ 複合交流施設に入れる機能の検討		
概要	<p>◆複合交流施設に入れる機能の検討 (●…メンバー発言、○…民間事業者代表者発言、→…事務局発言)</p> <p>→前回までの検討で、住民参加による拠点づくりとして、ファブリカ跡地に福野中部交流センター機能を中心とした市民センター機能や、産業文化会館機能などを複合化した複合交流施設整備の大まかな配置やラフ図も含めて、具体的な内容を検討していただいたが、昨年12月に提出していただいた提言書にも「地域で取り組むこと」として「PPPやPFIという公民連携方式の可能性の追求」の記載がされていたが、このたび、民間事業者の方からファブリカ跡地での開発の提案があったところ。市としては、これまでの皆様からの意見が反映されるよう働きかけながら、前向きに進めていきたいと考えている。</p> <p>●複合交流施設単体で検討している内容を、民間の方にも理解をしてもらわなければならない。民間の方には、儲けようというよりも地域貢献しよう、という思いで取り組んでもらわないと困る。</p> <p>→福野のまちを良くしよう、という思いはこの民間事業者の方については同じ。</p> <p>●いくら民間の方が取組むと言っても、そこで何か事業を行わないと難しいだろう。</p> <p>●手法としては、福野駅前のクリゾンテムと同じようなイメージか。</p> <p>→詳細はまだ決まっていないが、そのように聞いている。</p> <p>●クリゾンテムの二番煎じということなら、理解しやすい。</p> <p>○今の民間事業者による開発の話については、私が関係している。 大きい目を見て、あの広い土地に様々な機能を盛り込みたい。このグループで検討している複合交流施設であったり、また、公営住宅であったり、マンションであったり。民間で建設する方が、公共でやるよりも格段に補助金を得やすい。クリゾンテムの場合も、補助金を上手く活用していたと聞く。</p> <p>●クリゾンテムの場合は、1階は商業施設、2階より上層階は集合住宅という内容で、民間が補助金を得て、建物全体を建てた。そして、集合住宅部分を公共が買取ったという形。1階が民間所有のままで、2階より上が市有の建物となっている。</p> <p>●民間に対する補助金など、いろいろな制度的なことを教えてもらわなければ理解できない。</p> <p>→市営もみじ野団地の建て替え計画の場所についても、旧福野第一保育所の場所になるのか、ファブリカ跡地になるのかはまだこれからであり、クリゾンテムと同じようにできるのかはまだわからないと思われる。また、民間事業者に対する補助金などの制度については民間事業者の方で調べられるので、このグループで調べる必要はないかと。</p> <p>○このグループで検討している複合交流施設の福野中部交流センター機能について、今後の民間事業者としての検討には、福野中部まちづくり協議会の方にも加わっていただきたいと思っている。また、福野産業文化会館機能に入っているテナントの候補も挙がっているので、その方たちにも検討に加わっていただきたいと思っている。 建物全体を民間で建てるイメージをしているが、その具体的な使い方についてはこれから考えていかなければならない。例えば、福野中部交流センター機能であれば、城端地域の南山田交流センターのように、賃貸にするなどの方法もある。建物の維持管理についても会社組織を立ち上げて取りくんでいく。そのためにも、利用者からある程度の利用料をいただく仕組みが必要になると考えている。</p> <p>●市のお金を当てにして、民間が建設する、ということか？</p> <p>●区別して、もう一度説明してほしい。</p> <p>●要は、地元企業の集合体による開発として、複合交流施設を建てたり、マンションを建てたりするということだろう。</p> <p>○クリゾンテムと同じような手法を想定しているが、建物は一体ではなく別々とする予定。</p> <p>●複合交流施設も民間で建てて運営するということが、複合交流施設には交流センター機能を入れると言っているのだから、その部分も民間で運営というのは考えにくい。区分所有にするべきと考える。庁舎統合の議論から始まって、福野地域は複合交流施設建</p>		

設を提言した段階で、市長は、この建物は市で建てなければならないと認識していたはずだから、やはり、市で建てるべきである。

→市がお金を出して建てるということがすべてではない。市で建てるつもりが、民間で建ててもらえる可能性が出てきたということ。完成後の買取りか賃貸かについても、今後の話し合いになる。

○いろいろな方法が考えられる。

●民間で建設することで、交流センター機能が全くなってしまうことが危惧される。

○そのことは重々承知しているから心配ない。

●土地は市有であるが、その点はどのように考えているのか？

複合交流施設は市で建てる方向で話が進んでいて、その財源も担保されているのだから当然市で建てるべきである。アパートやマンションは民間で建ててもらって、それと市で建てた複合交流施設とを一体的にする、というのであれば理解出来る。

●民間のメリットはどこか？

→地元企業の方々が力を合わせて、地域を盛り上げようとされていることが最大のメリットではないか。儲けようということではないと思う。

●交流センター部分は、買取りでも賃貸でも問題はないと思う。市で発注するよりは、随分安価に建設できるだろう。

○民間としてどうやって儲けるかという話は、ここの議論とは全く別のこと。仮に、民間事業者の話が信用出来ないから、このグループでは賛成出来ない、と言われたとしても、民間としては関係ない。

●民間で運営されるとなると、採算を合わせるために、今よりも非常に高い料金設定となることが危惧され、そのことによって、福野中部まちづくり協議会の活動が出来なくなり、提言とずれることになってしまう。

○それは単なる決め付け。これから福野中部のみなさんと話し合っ、お互いの妥協点を見出していけば良いと思っている。

→民間事業者と言っても地元企業の集合体であれば、その点の話合いは難しいことではないと思う。仮に、大手のデベロッパーが入ることになる場合でも、地域の皆さんと話し合ってもらうように、市としては働きかけていくことになる。

●このグループでは、複合交流施設単体をどのようにしていくかを詰めるべきかと。

→この会議の中で再三説明しているが、どんな活動をしていくか、そのために必要な施設はどんな施設かということが大切であり、そのことを、これからもこのグループで話し合っていたきたい。

●今後は、このグループは民間の誰と調整すれば良いのか？民間とこのグループとの摺り合わせも必要なのではないかと？

→民間の進み方を見届けていただきたい。

●だが、このグループで検討してきたことを基にしてほしい。

○もちろん、福野中部まちづくり協議会とはしっかりとマッチングさせて、進めていきたいと思っている。このグループで検討した結果が大幅に変わることはない。

●民間で取組むという話が出てきたのであれば、このグループでもその大まかな内容だけでも情報共有させてほしい。

●12月2日の3グループ合同会議では、どのような内容で報告すればよいのか？

→これまでの検討の報告と、それを民間に委ねながら進めたいという話になるかと。

●民間と摺り合わせるにしても、このグループの考えを何らかの形にしないとダメなのは？外観のイメージパースを描くという話はどうなった？

→現在、こうして民間で取組むという話が出ているのだから、ファブリカ跡地全体のものとして、民間事業者の方で描いてもらってはどうか？外観のイメージパースを描くにしても無料ではない。

●私の言っていることが税金の無駄遣いと言うのか！

→前回の会議で複合交流施設に盛り込みたい機能を議論いただき、作成した建物内のレイアウトイメージで今度の説明は十分ではないか。現段階で外観のイメージパースを描くことに意味があるのか。実際にここで活動される予定の福野中部まちづくり協議会との実施に向けた話を詰めていただいた後に作成すべきではないか。

○建物にどんな機能があって、その機能に対して人の動きがどうなるのか、ということが分かれば良いので、今ここにあるレイアウト図で十分である。

●そうは言っても、これまで話し合った内容を、外観のイメージパースやラフ図で残すべきではないのか？

●とにかく、このグループでは、複合交流施設単体で、どんな機能を持った、どんな形の建物にするのかを詰めた上で、民間の方と調整すべきではないのか？

- これまでの我々の成果として、外観のイメージパースやラフ図を持っていたいと思う。
- この報告がこのグループの会議の仕上げとなるのか？
- まだ、あくまでもグループでの話であり、住民説明会も踏まえた上で、福野地域のまとめとしていただきたい。今度の合同会議では、事務局としては、このレイアウト図で十分だと思っているが、どうしても外観のイメージパースをと仰られるのであれば、大雑把なイメージだけでも示していただけませんか。
- 自分もそこまで暇ではない。
- 民間の方で、ファブリカ跡地全体のイメージパースの中で描くことは可能である。
- まだ、民間に混ぜてもらわなくても良い。
- レイアウトイメージについては、前々回の会議で示された資料のような形の方が分かりやすいかと。
- 複合交流施設の外観のイメージパースの作成とレイアウトの修正については何とか対応を検討するが、12月2日の3グループ合同会議では、現段階の内容で報告していただきたいが良いか。
- 承知した。

◆次回会議

日時：令和元年12月2日（月）午後7時から

場所：福野庁舎2階 201会議室

内容：（福野地域3グループ合同会議）これまでの検討の進捗を他のメンバーに報告

福野地域 会議録

件名	福野地域提言実現検討組織 3グループ合同会議		
日時	令和元年 12月2日(月) 19時~21時	場 所	福野庁舎1階 102会議室
出席者	拠点づくりGメンバー:3名、空き家等活用Gメンバー:4名、人づくりGメンバー:2名、地方創生推進課:2名		
内容	・各グループからの検討の進捗状況報告と質疑応答、 ・今後の方向性について		
概要	<p>◆人づくりグループからの報告 郷土愛を育む、あるいは、まちづくりに興味を持ってもらえるような人材育成のためのコンソーシアムの創設に向けての検討について説明。</p> <p>◆質疑応答 (○…人づくりグループメンバー発言、●…他のグループメンバー発言、→…事務局発言)</p> <p>●報告を聞いて、とてもワクワクした。まず、仲間集めの際のインセンティブは何か？そして、仲間になったらどんなことが出来るのか？また、この団体が活動を続けていくには、任意団体よりも法人が良いのではないかとも思うが、団体のこれからの方向性が見えていれば聞かせてほしい。</p> <p>○法人化のイメージは、今のところは持っていない。現在のグループメンバーが主に中心になって企画に携わることになるかと。その他、取材や記事を書くメンバーも必要になってくる。この人たちは、中心メンバーとは同列ではなくて、この団体の中で階層的なものになるだろうと考えている。責任の度合いが違ってくる。</p> <p>仲間集めのインセンティブは、稼ぐということではない。今のところ、お金ではないところで動いてくれる人の参画を想定している。提言にも入れていたが、高校生など学生による応援も考えている。学生が参加することで、地域の大人を知ったり、地域の大人と関わることで社会でのマナーを身に付けられたり、というメリットも想定される。また、学生の視点により、達人や匠の方々のこれまでの見方に気付きが生まれることも想定される。この団体の仲間になったら、間違いなく福野オタクになれるだろう。</p> <p>出来ることからやっっていこうと話しているところ。興味深い活動だと思ってもらうことを重要視している。今後の仕組みとしては、学生や退職後の教員、福野のことが好きな人など、お金ではないところで動いてくれる人がある程度集まった段階で活動出来るのではないかと考えている。そして、事務局機能をしっかりさせて、地に足のついた活動が出来るようにしていきたいと思っている。</p> <p>○現在、メンバーが3名しかいない。地域を知る、ということからも、市役所職員にはメンバーに入ってもらえたら良いと思っている。皆さんからも是非、周りの方への声掛けをお願いしたい。</p> <p>○こういう活動に関わることそのものが、人づくりだと思っている。</p> <p>●高校生を巻き込むのは良いこと。また、団塊の世代の持っている能力を活かすことも大切にしたい。例えば、高校生と団塊の世代とのマッチングによる化学反応で、新たな福野の魅力が発見されるようなことが起こるかもしれない。団塊の世代を眠らせないためにも、是非頑張ってもらいたい。</p> <p>●人と人がつながった後の、次の取組の具体的な内容まで説明があると、より説得力があると思う。</p> <p>○次の段階として、例えば、事務局同士の化学反応についても、今後きちんと設計したい。実際に活動がスタートすると、達人たちとのコラボレーションで新しいものが生まれる可能性として、今まで関わりのなかった人が出会うきっかけになるかと思うが、この点についても、今後アイデア出しをしていきたい。</p> <p>●ちなみに、達人第1号を誰にするのか予定はあるのか？</p> <p>○次の会議に向けての宿題となっている。声の掛けやすい方になるだろうか。お勧めの方がいらっしやったら、是非教えてほしい。今後開催予定の住民との意見交換会の場で、1人目の方を紹介できれば、容易にイメージしてもらえるかと思っている。</p> <p>●歴史や文化の分野だと、達人も比較的見付けやすいかと。中部地区なら、町並みの歴史、夜高行燈の歴史などになるだろう。詳しい方々がだんだんと亡くなられて、貴重な話が聞けなくなっている。まちなかには、まだ詳しい方がおられるので、人伝てに探すことも可能だろう。</p> <p>○町の語り部が少なくなっていることに危機感を覚えている。今のうちに、語り部から話を聞いて、次につないでいきたいとも思っている。</p> <p>●村部にも、村の歴史に詳しい老人がいる。</p> <p>○是非、そのような方たちとつなげていただくとありがたい。以前、このグループの会</p>		

議で、福野の事を良く知ることの出来る「ふくの学（仮称）」を作っていきたいとも話していた。せつかく作るのだから、市民の皆さんに使っていただけるように情報発信したい。そして、様々な世代の人を巻き込んで取り組んでいけたら、と構想は大きく持っている。

◆拠点づくりグループからの報告

ファブリカ跡地への、福野中部交流センター機能と福野産業文化会館機能を盛り込んだ複合交流施設の建設に向けての検討について説明。

◆質疑応答

(○…拠点づくりグループメンバー発言、●…他のグループメンバー発言、→…事務局発言)

→ポイントは、活用対象範囲を福野地域全体とされている点かと。福野地域の皆さんに使ってもらうためには、ソフト部分の充実が不可欠。今後、ソフト部分もしっかりと考えてほしい。

●住宅開発については、何戸程を想定しているのか？

○市営住宅のもみじ野団地の建て替え案の1つとして想定していると聞いている。現在の2棟を1棟にする計画案もあるように聞いている。

●自分なりの感想として、まず、試算して、採算が取れるかどうかまで計算されている点が印象的だった。福野中部まちづくり協議会の予算を見込んだとしても、不足額がこれだけある、と試算出来ただけでも大変素晴らしい。ただ、この不足分の対応について、「市からの委託料をもらって、」という説明では実現は難しいのではないかとその不足部分をどのような方法でクリアしていくのか。利用対象者の範囲を福野地域全体としているのであれば、福野地域全体として絶対に欲しい機能や、必要な機能が何なのかをもっと厳選すべき。地主は市なのだから、市自身が地主の立場で考えていく必要もあると、改めて考えさせられた。民間と一緒に、この事業者となら一緒に取り組みたいという民間事業者を見つけて取り組むことも必要なのではないかと聞いていた。

また、住宅開発の点について、用途地域内への住宅建設に対する助成制度創設の意見があったが、それは不要ではないか。高くてもこの場所に住みたい、という人に住宅を建ててもらわないと、先程の人づくりグループの報告にあった、能動的な地域にはならないと思う。もし仮に、ファブリカ跡地に住宅開発をするのであれば、そこに魅力を感じた人に住んでほしいと思う。助成制度があると、その助成制度を理由にする人が住むことになるから、住み続けたい場所にはならないと思う。

○複合交流施設新設については、福野地域の地域づくり協議会連絡会としても市に要望している。福野中部交流センターや福野産業文化会館については、ヘリオスとの複合化の可能性も打診されているが、ヘリオスは用途が違うし、また、福野中部の住民からもヘリオスの利用は不可能との意見を聞いている。それから、こちらからの資料にあった平面図について、高齢者スペースと子育てスペースは福野中部交流センター機能としてではなく、福野産業文化会館機能とするのが適当ではないだろうか。面積は必要最低限になっているつもりである。

→先程のご質問は面積そのもの話ではなく、300万円余りの収支のずれについて、今後開催される住民との意見交換会にて、収支の改善方法をもっと検討すべきではという意見が出た時に、本当に「市にお願いする」と言い切ってしまうのか、それとも、もう少し理論武装する必要があるのではないかと、という内容だったかと思うが。

○この複合交流施設は、地域の課題解決のための施設でもある。地域の課題解決は、そもそも行政でやるべきことなのに、小規模多機能自治で行うのだから、市からの若干の支援があるべきと考える。たまたま、福野中部まちづくり協議会が福野地域全体を網羅して取り組もうとしている。1個人の趣味でやっていることではない。

●福野地域で廃止する施設がそれなりにあるのだから、その分の経費は浮いてくるはず。そう考えると、今言っている300万円余りの収支のずれはたいしたことないのではないかと。

●施設の面積計算の根拠は？廃止する面積の半分の数字なのか、必要な機能の面積を積み上げた数字なのか？

○福野産業文化会館をイメージしながら、必要な機能の面積を積み上げた数字である。結果的に、廃止する面積の半分となった。

●必要な機能分の面積は確保されているということか？旅川福祉交流館については、調理室が必要な機能として、複合交流施設にも盛り込まれているようだが、入居している福祉作業所のメイプル福野などについては、その機能が施設には盛り込まれていないようである。この点についてはどのように考えているのか？施設を廃止すると言うのであれば、既に入っている機能の次の行き先を考えてあげるべきではないのか。

○旅川福祉交流館に入居されているメイプル福野などの福祉的機能については、行政から

必要だと言われれば盛り込むこともやぶさかではない。盛り込むかどうかは、行政の判断に因るところだと思っている。このグループでは盛り込む理由が見当たらないので、現段階では説明出来ない。メイプル福野の関係者もこのグループに参加していただいているが、この点の検討は現在保留となっている。

○福野庁舎を廃止にするのだから、資料にある今回廃止対象面積は、廃止施設そのものの面積である 8,190 m²に合わせた方が分かりやすいのではないかと。

●既に廃止する面積の 50%以下となっているのだから、半分にこだわる必要はない。

●面積はあくまでも一つの目安であって、大事なものは、面積を小さくすることで建設費用が抑えられたり、維持管理費が半分になったりするという点である。

●先程の報告では、今この福野にとって、役に立ち、且つ、前向きな施設にする、ということであったが、だとすれば建てた後の施設のもたらす効果が大事になる。

●先程、ヘリオスとの用途が違うといった意見だったが、他の施設と機能的にどのように違うのかが分からない。その点をもっと明確に説明する必要があるかと思う。

●ヘリオスと福野産業文化会館との大きな違いは、利用料金。

→現在、利用料金の見直しを行っている最中で、新しい料金体系の情報は、今後、拠点づくりグループの会議の折に提示したい。

●テナントとして 4 区画を検討されているようだが、福野産業文化会館の入居団体の他に、どんな方の入居を想定しているのか？魅力的なテナントを誘致するようなことは検討されたのかどうかを聞かせてほしい。

○物販テナントについては、コンビニエンスストアのようなものが入ってもらえたら、と話していた程度。あてがないので、詳細な検討は出来ていない状況。

○この施設の機能で利益をあげられるのは、テナント部分になるだろう。

→テナント部分を、飲食も可能な貸事務所とした場合、提示の 25 m²で果たして利用可能かどうか、足りるのかどうかという点も十分に検討されるべきかと。

●行ってみたくなるような仕掛けをテナントに盛り込んだ方が良いのではないかと。現時点のものは、単なる公民館にしか見えない。

◆空き家等活用グループからの報告

① 駅舎・JR福野駅前の利活用、

② 福野庁舎跡地の利活用、

③ ファブリカ跡地の利活用、

④ 空き家・空き店舗に関するリノベーションの推進に係る検討について説明

◆質疑応答

(○…空き家等活用グループメンバー発言、●…他のグループメンバー発言、→…事務局発言)

○福野庁舎敷地の利活用については、単に宅地造成して売りっぱなしにするのではなく、どんな付加価値を付けて売れば良いかを検討している。どうしたら魅力的な宅地となるのか、必然的に人が集まるような仕掛けを、どのようにして宅地のエッセンスとして盛り込むか。地主である市が、どのようにして売り切るのか、ということも考えていくべきだろう。

○この場所なら、デベロッパーが買うかもしれない。

○エコタウンなど、お金ではない価値をこの場所に見出していか、あるいは、自分たちが民間会社を設立し、アパート経営しながらこの宅地を売り切るとか、などの意見があった。今後の住民との意見交換会に向けて、この点の検討も詰めていきたい。

また、グループの検討に専門家が加わっていただくと、議論が一気に進むので、今後、様々な分野の専門家の話も伺いたいと思う。

●福野庁舎の利活用の件で、宅地開発の有効期限が 4、5 年以内とのことだったが、市民センターの移転を、新設する複合交流施設へと考えた時に、一度で移転するのは難しいかもしれないので、例えば、2 段階で移転する方法もあるのではないかと。

●今日はグループ間の調整会議でもあるから、福野地域提言実現検討組織としてのスケジュール感をメンバー全員で共有してもよいのではないかと。そこで、今日の話を経験すると、まずは 3 年程掛けて施設整備し、次に庁舎解体、宅地開発、といった流れになるだろうか。

○そのスケジュールで、5 年以内に宅地を売り切ることが出来るだろうか。

○せっかくの場所に、不要な建物が残り続けるのは、福野地域にとってもムダなことである。市としても、早急に結論を出して、先に進んでほしい。

●福光庁舎への庁舎機能の移転が決まっている以上、残った庁舎について今後の対応を早急に進めてほしい。

→福野地域提言実現検討組織としての、大まかな方向性が見えた気がするのと、皆様のご理解が得られたと理解したい。

◆次回会議

○人づくりグループ会議

日時…令和元年12月16日(月)午後7時30分から

場所…福野庁舎1階 102会議室

内容…具体的な取組内容の検討

○拠点づくりグループ会議

日時…令和2年1月15日(水)午後7時から

場所…福野庁舎1階 102会議室

内容…複合交流施設に必要な機能と具体的な取組の検討

○空き家等活用グループ会議

日時…令和2年1月16日(木)午後7時から

場所…福野庁舎1階 102会議室

内容…付加価値の検討

◆福野地域提言実現検討組織による住民との意見交換会

日時…令和2年2月29日(土)午後7時から

場所…福野体育館 会議室1・2

内容…提言実現に向けた検討結果を地域の皆さんに広く知っていただく

I 複合交流施設

1 公共施設再編計画の視点からの試算（案）

(1) 福野地域内でのスクラップ & ビルド で50%削減目標

新しい核となる拠点施設					廃止する施設			
施設名	行政施策との関連	施設区分	施設内容/規模		延床面積(m ²)	施設名	延床面積(m ²)	
複合交流施設	小規模多機能自治の推進	中部まちづくり協議会	事務室		35	福野産業文化会館	1,062	
			多目的会議室	150名規模	270	福野中部公民館	87	
			会議室3	50m ² ×3	150	ひびきの家	194	
			調理室		60	福野庁舎	5,578	
			物置等		50	(内行政センター707)	(285)	
	高齢者の地域で支え合う体制づくり	高齢者の居場所づくり	高齢者交流スペース	40名規模(40畳)	80	旅川福祉交流館	1,269	共同作業所は7アプリカ跡地(マツ園)へ、就労支援はメーブルへ譲渡を検討
	子育て支援	放課後児童の居場所づくり	児童学習スペース	40名規模(40畳)	80			
		幼児子育て空間	子育て交流スペース					
	行政改革	市民センター-窓口	市民センター-窓口		190			
	生涯学習	一般サークル活動等	会議室2	45m ² ×2	90			
	持続可能な運営	テント空間	一般テント	25m ² ×3	75			
			団体用テント	25m ² ×3	75			
			物販テント	25m ² ×1	25			
	エントランスとギャラリー空間	エントランスとギャラリー、産業・観光PR空間		300				
	その他空間	玄関/ロビー/トイレ空間等(延床面積×0.3)		350				
	(屋外空間)	(芝生広場)		(1,000)				
	(駐車場)	(60台×20m ² /台+通路4m×60)		(1,440)				
合計				1,830	⇒廃止対象面積に対する22%			
施設の目標面積	廃止面積に対する50%目標面積			4,100 (1,450)	廃止対象面積	8,190 (2,897)		

2 場所

ファブ跡地(用地は南砺市)

3 維持管理費等の概算試算(案)

	経費の内訳		概算額(年間)			負担方法・金額	概算不足額(年間)		
	施設区分	経費の内訳等	維持・管理費等	人件費	合計				
必要経費	市行政等	行政等、産業・観光等PR等 (管理人件費等含む)				南砺市	0		
	中部まちづくり協議会等	中部まちづくり協議会等、芝生へのイベントとギャラリー空間、その他空間	3,000,000 (小修繕含む)	4,962,120	8,809,680	まちづくり協議会 5,321,120	3,488,560		
	児童学習等							(4,962,120+359,000)	
	高齢者、子育て交流等	中部まちづくり協議会を中心とする運営							
	趣味、サークル活動等	生涯学習関連以外の趣味・サークル(50回/年×1,500円=75,000円) 各種団体等(50回/年×1,500円=75,000円)							利用料 150,000
	テナント等	一般テナント3室×10,000円/月×12 団体用テナント3室×10,000円/月×12				賃借料 720,000	△720,000		
	物販テナント等	20,000円/月×12				賃借料 240,000	△240,000		
	芝生広場	芝生広場管理等	500,000		500,000		500,000		
	駐車場	消雪電気料等	100,000		100,000		100,000		
	合計		3,600,000	5,809,680	9,409,680	6,431,120	2,978,560		

4 整備手法及び維持管理運営の検討（案）

【PPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ：公民連携)】

PPPには、PFI方式、指定管理者制度、公設民営(DBO)方式、包括的民間委託、自治体業務のアウトソーシングなどの手法が含まれる。

整備区分		整備手法	建設主体	所有権	維持・管理運営	備考
①	複合交流施設 単体整備	南砺市	南砺市	南砺市	中部まちづくり協議会が主体的に運営し、 維持管理運営費は住民自治推進交付金と不足分は市からの委託料	
②	複合交流施設 と住宅を一体 整備	PFI方式 (BOO又はBTO)	民間	複合交流施設(市 が区分所有又は賃 貸契約)	中部まちづくり協議会が主体となって運営	
				住宅(民間)	民間	

5 複合交流施設で取り組む内容（案）

施設区分	取組内容(新たな賑わいづくりに向けて)	運営方法	取組根拠(ニーズ等)	取組効果
中部まちづくり協議会 707	中部まちづくり協議会の生涯学習/人づくり部会、高齢者支援/介護予防部会、子育て支援部会、伝統産業再生部会等8部会の活動	中部まちづくり協議会	小規模多機能自治の推進	地域の課題解決
高齢者交流スペース	①高齢者の居場所づくり(コヒ-カリ)(中部地区及び全地域の高齢者を対象)	中部まちづくり協議会の高齢者支援/介護予防部会(民生児童委員、地域福祉推進員、ヘルプボランティア)	中部地区アンケート(コヒなど生きがいづくり/重要度認識51%)	日中の高齢者一人暮らしを避け、ボケ防止
	②健康体操&カラオケ(中部地区及び全地域を対象)	中部まちづくり協議会、スペース推進員	中部地区アンケート(健康体操など健康づくり/重要度認識57%)	要支援レベルにならないための健康維持
	③通所型サービスB型事業(中部地区の要支援1・2を対象)	中部まちづくり協議会と有償ボランティアスタッフ	市の取り組み方針	要介護レベルに進まないための健康維持
児童学習スペース	①放課後児童の居場所と学習(福野全地域を対象)	中部まちづくり協議会の子育て支援部会を中心に(教員OBなどのボランティアグループの検討)	中部地区アンケート(子育て支援・放課後の過ごし方/重要度認識69%)	プレイの不足分及びプレイに行かない高学年児童の居場所、共働き世帯の子育て支援
子育て交流スペース	①子育てママの交流と幼児の遊び場(福野全地域を対象)	中部まちづくり協議会の子育て支援部会を中心に(母子健康推進員など)	中部地区アンケート(子育て支援・相談できる場/重要度認識69%)	子育ての悩みが情報交換でき、育児に反映
サークル活動スペース及びイベントスペースとギャラリー空間	趣味・サークル活動及びイベント・ギャラリー空間での自由発表や展示	趣味の会又はサークルグループ	生涯学習等の推進、	賑わいづくり
テントスペース	団体用テントの想定	ライオンクラブ、老人クラブ、福野土地改良区等を想定		

6 持続可能な運営方法の検討（案）

- (1) 施設整備の観点 ①PFI方式の検討
②建設時の太陽光パネル設置等により電気料の節減
- (2) 運営上の観点 ①テナトによる収入 ②地域での物品販売

7 解決できる課題

- ①中部まちづくり協議会の活動拠点施設の確保
②まちの核となり、交流と賑わいを創出し、まちを活性化
③子育て支援、高齢者の居場所づくりなど地域が抱える課題を解決
共働き世帯の子育て支援体制を充実させ、定住化を促進

II 住宅開発

- 1 現状と ①南砺市の人口減少対策を福野で実践(南砺市外からの就労者が多い企業が立地する、福野地域の優位性を活かした定住化対策)

目標 ②保育園、小学校、中学校、高校、そして体育館、図書館等が「コソパ」外に配置されているまちの優位性、教育環境の良さ。
②都市計画に沿った、「コソパ」外なまちづくり」を推進することにより、まちの賑わいと活性化を図る。

- 2 場所等 「コソパ」跡地、庁舎跡地（用地はいずれも南砺市）

- 3 産官民による整備の支援体制
- ①整備主体 民間宅地開発業者
- ②行政の支援 「コソパ」外なまちづくり」の観点から、用途地域内で住宅開発を行った、住宅の購入者に対する市の助成制度を創設。
- ③市民グループ ボランティアの立場で、企業就労者へのPR。行政、民間開発業者との連絡支援。子育て支援体制や高齢者の支援体制などをPR

Ⅲ 駅周辺整備の検討（参考）

- 1 現状
 - ①福光高校の廃校が決まり、その分福野高校に集約、生徒数が増加することが予想される中、福野駅から福野高校へ行く市道が狭く、列車から降りて来る高校生で、道路は一時車両通行止め状態にある。
 - ②福野駅前市営駐車場が狭く、わかりづらい。

- 2 福野駅から福野高校への歩行導線の整備
 - (1) 市道の部分的拡幅
 - ①歩道整備
 - ②側溝蓋掛けによる歩道空間の確保

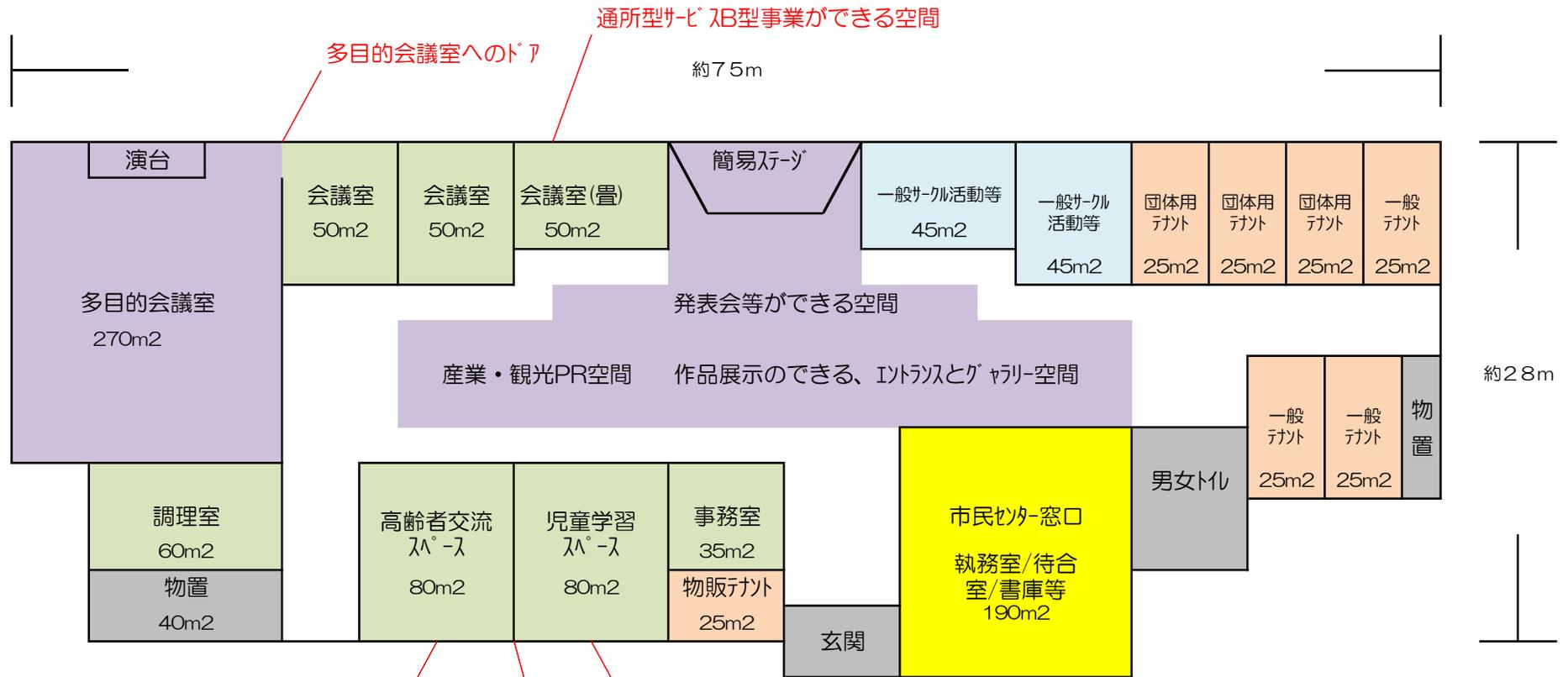
- 3 駅東地区の整備
 - (1) 駅東地区の開発
 - ①駅東広場・駐車場を中心に、工業系、住宅系の開発（土地区画整理事業
 - ②10ha未満の土地区画整理事業の補助制度拡充
 - (2) 駅東側から福野高校への歩道整備
 - ①JR用地の取得

- 4 駅前の再整備
 - (1) 駅前駐車場の再整備
 - ①隣接地（JA跡地）を含めた駐車場の再整備
 - ②駅舎内待合リ - の改修
 - ③駅待合リ - の整備（JA跡地の活用と民活導入）

城端線への、
駅東口からの
乗降

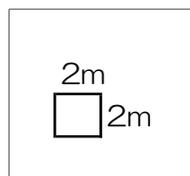
福野地域拠点づくりグループ 複合交流施設のイメージ図

- 中部まちづくり協議会スペース
- 共用スペース
- 南砺市スペース
- 一般サークル活動等スペース
- テントスペース



多目的会議室へのドア
通所型サービスB型事業ができる空間
約7.5m

一部畳敷
一部畳敷
開放でき、遮音性のある移動間仕切り



福野地域の 新しい核となる「拠点づくり」 の提言

福野地域提言実現検討会議
【拠点づくりグループ】

1/9p

拠点づくりの視点

- ①庁舎が無くなった後の**まちの活性化**(市街地を中心に検討)
- ②行政セクター機能の見直しに伴う、**市民セクターの移転先**
- ③産文の老朽化に伴う、**小規模多機能自治の拠点施設整備**
【中部まちづくり協議会(自治振興会/公民館/地区社協を一つにした組織)による、地域の課題解決の取り組み】
- ④**共働き世帯の支援**⇒市の定住化促進を福野地域で実践
 - 放課後児童の居場所づくり(中部地区アソシエートの重要度認識より)
 - 子育て支援(同上)
 - 高齢者の居場所づくりや通所型サービスB型事業(同上)
 - サークル活動等生涯学習の推進
- ⑤幼児から高齢者までが**交流できる空間**(賑わいの創出)

3/9p

まちの優位性を活かした 新しい核となる**拠点づくり**

(まちの優位性)

- 保育園、小学校、中学校、高校、体育館、ヘリオス(図書館)などが文教ゾーンとして中心市街地にまとまっている。
- 川田工業、マツノTC、三協アルミなどの大手企業や砺波土木など県の出先機関があり、人口減少率は市内で最も低い。

(まちの課題)

- 空き家、空き店舗、ファブ跡地、庁舎跡地などの活用
- 若者の定住化対策と共働き世帯の支援
- 高齢者の居場所づくりなど

2/9p

複合交流施設の整備

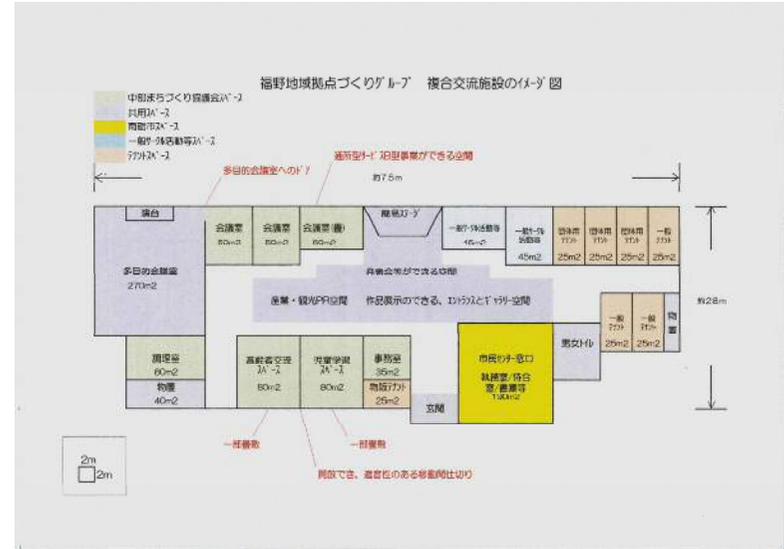
- 1 公共施設再編計画の視点から、福野地域内でのスクラップ & ビルドで**50%を削減目標**とする。
 - 廃止する施設面積 8,190㎡ (庁舎/産文/公民館/旅川福祉交流館等)
 - 複合交流施設面積 1,830㎡ ⇒ 廃止対象面積に対する**22%**
- 2 **複合交流施設の内容**
 - ①中部まちづくり協議会スペース②市民セクタースペース
 - ③高齢者交流スペース④児童学習スペース⑤子育て交流スペース
 - ⑥サークル活動等スペース⑦テナントスペース⑧エントランスとギャラリースペース
 - ⑧そのほか芝生広場、駐車場など

4/9p

位置及び整備手法等の検討

- 1 整備位置 小学校/保育園/現産文に近いまちの中心地である
ファブ 跡地
- 2 整備手法 PPP (公民連携)方式も含め検討
 - ①案 複合交流施設単体整備(南砺市)
 - ②案 住宅施設と一体整備(民間によるPF方式等)
- 3 管理運営主体
複合交流施設部分は、中部まちづくり協議会が主体となって管理運営
- 4 維持管理費等
住民自治推進交付金、市の委託料、テナト収入、利用料など

5/9p



6/9p

福野拠点づくりグループの検討イメージ案 (周辺配置)



7/9p

◎複合交流施設の整備によって解決できる課題

- ①行政センターに変わる、市民センターの移設場所が確保
- ②小規模多機能自治の拠点施設(中部まちづくり協議会)が確保
- ③地域の課題である、高齢者の居場所づくりや子育て支援体制を充実することにより、共働き世帯を支援する定住化促進のまちづくりが実践できる。

◎ファブ 跡地・庁舎跡地の住宅開発について

南砺市外からの就労者が多い、福野地域の優位性を活かして、定住化対策を実践。

用途地域内で住宅開発を行った、住宅購入者に対する市の助成制度を拡充。

8/9p

スケジュール

- 1 ファブリカ跡地で速やかに複合交流施設を整備し、市民センターの移設手戻りのないようにする。
- 2 4～5年以内に現庁舎を撤去し、住宅開発をすすめる。

みんなの思いを一つにして、まちづくりを！
【拠点づくりグループ】の提言を終わります。